



サクソフォン

取扱説明書

Saxophone

Owner's Manual

Saxophon

Benutzerhandbuch

Saxophone

Mode d'emploi

Saxofón

Manual de instrucciones

Saxofone

Manual de instruções

萨克斯管

使用说明书

Саксофон

Руководство пользователя

색소폰

사용설명서

薩克斯風

使用說明書

JA EN DE FR ES PT ZH-CH RU KO ZH-TW

日本語

English

Deutsch

Français

Español

Português

简体中文

Русский

한국어

繁體中文

このたびは、ヤマハ管楽器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
楽器を正しく組み立て性能をフルに発揮させるため、また永く良い状態で楽器を
お使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

P.3

Thank you for purchasing this Yamaha Brass Instrument. For instructions on the proper assembly of the instrument, and how to keep the instrument in optimum condition for as long as possible, we urge you to read this Owner's Manual thoroughly.

P.3

Wir danken Ihnen, daß Sie sich für ein Blechblasinstrument von Yamaha entschieden haben. Lesen Sie diese Bedienungsanleitung bitte aufmerksam durch, da sie wichtige Anweisungen für das korrekte Zusammensetzen und die ordnungsgemäße Pflege des Instruments enthält.

P.3

Nous vous remercions d'avoir fait l'achat de cet instrument à cuivre Yamaha. En ce qui concerne les instructions relatives à un assemblage adéquat de l'instrument et sur la façon de garder l'instrument dans des conditions optimales aussi longtemps que possible, nous vous conseillons vivement de lire entièrement le présent Mode d'emploi.

P.3

Muchas gracias por haber adquirido ese instrumento metálico de viento Yamaha.
Le aconsejamos que lea todo este manual de instrucciones, donde encontrará las instrucciones para el montaje correcto del instrumento así como para mantenerlo en óptimas condiciones durante mucho tiempo.

P.3

Agora você é o proprietário de um instrumento musical de alta qualidade.
Obrigado por escolher a marca Yamaha.
Aconselhamos que leia cuidadosamente todo o manual do proprietário para ver as instruções de montagem adequada do instrumento, bem como manter em ótimas condições de uso pelo máximo de tempo possível.

P.3

衷心感谢您购买雅马哈管乐器。为了保证您能够正确组装此乐器，并尽可能长时间地将您的乐器保持在最佳状态，我们建议您完整地阅读使用手册。

P.3

Благодарим Вас за покупку этого медного духового инструмента Yamaha. Для инструкций по сборке и хранению инструмента, при оптимальных условиях, как можно дольше, мы рекомендуем Вам внимательно прочитать Руководство Пользователя.

P.3

야마하 관악기를 구매해주셔서 감사합니다. 악기의 알맞은 조립 방법 및 최적의 악기 보관 방법을 위해 본 사용설명서를 모두 읽어주시기 바랍니다.

P.3

感謝您購買此 Yamaha 銅管樂器。如欲了解正確組裝樂器的指示，以及將樂器盡可能長時間保持最佳狀態的方法，我們強烈建議您詳閱此使用說明書。

P.3

サクソフォン

取扱説明書

安全上のご注意 ご使用の前に必ずお読みください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様に徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

⚠:「ご注意ください」という注意喚起を示します。 ⓧ:「～しないでください」という禁止行為を示します。

⚠ 注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

ⓧ 楽器を人に向かって投げたり、振り回したりしないでください。

マウスピースや部品が抜け、相手の身体に当たるなどして危険です。楽器はいつもやさしく扱ってください。

⚠ オイルやポリッシュ類を乳幼児が口にしないよう、十分ご注意ください。

乳幼児の手の届かない所に保管したり、楽器のお手入れは乳幼児のいない所で行なうなど、オイルやポリッシュ類の管理にはご注意ください。

⚠ 楽器のお手入れの際など、針パネに直接触れないようご注意ください。

高級モデルの針パネは、優れたキータッチを得るために先端部が尖っています。

⚠ 温度・湿度などの環境に注意してください。楽器をストーブなどの火気に近づけないでください。また、温度・湿度の異常な環境での使用や

保管も避けてください。キイの連絡バランスやタンポの合い具合が悪くなり、演奏に支障を生じるおそれがあります。

ⓧ ラッカー仕上げの製品のお手入れには、ペンジンやシンナーは使用しないでください。

表面の仕上げを損なう場合があります。

⚠ 変形にご注意ください。

不安定な場所に置いた場合、落下や転倒により変形するおそれがあります。置き場所には十分注意してください。

ⓧ 改造しないでください。

保証の対象外となるばかりでなく、修理ができなくなるおそれがあります。

ⓧ 小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。

メッキ仕上げの管楽器は、メッキの性質上、時間が経過すると表面が変色する場合がありますが、演奏には何ら支障はありません。なお、初期の変色部分はお手入れによって簡単にきれいになります。(変色の進行したものは、きれいにならない場合があります。)

※ お手入れ用品は、それぞれのメッキの種類に合った専用のものをお使いください。またポリッシュは表面を磨き取るものですので、メッキが薄くなることがあります。あらかじめご了承ください。

■ 長くお使いいただくために

楽器を良いコンディションで長くお使いいただくために、以下の事項を心掛けてください。

- 組み立て前に、ジョイント部のホコリや汚れを布で拭き取っておきましょう。
- 演奏後は水分をよく取り除きましょう。(→ P.7 「楽器のお手入れ」)
- 定期的に楽器の点検・お手入れをしましょう。(→ P.7 「楽器のお手入れ」)
- ケースへ出し入れする際は、キイに無理な力がかからないよう、重量バランスのよい所をしっかりと持ちましょう。
- 保証書は大切に保管しておきましょう。

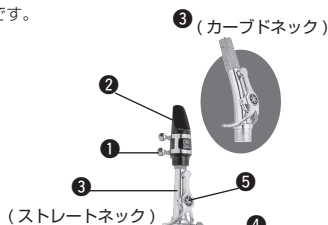
各部の名称

アルトサクソフォン テナーサクソフォン

※ 写真はアルトサクソフォンです。



ソプラノサクソフォン



バリトンサクソフォン



- ① リガチャー
- ② マウスピース
- ③ ネック
- ④ ネック締めネジ
- ⑤ オクターブキー
- ⑥ ベル
- ⑦ アッパーボウ

- ⑧ ボウ
- ⑨ キイガード
- ⑩ ウォーターキー
- ⑪ ベグ
- ⑫ ストラップリング
- ⑬ サムフック

※ 仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがあります。

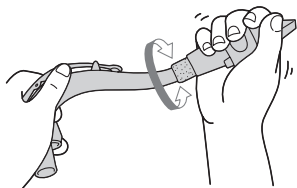
組み立て方

楽器の組み立ての前に

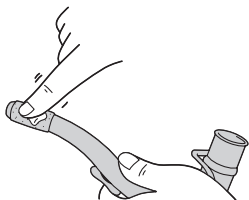
サクソフォンのボディの板厚はとても薄いので、楽器を持つ際は1ヶ所に負担がかからないように注意してください。また、組み立てや取り扱いの際に無理な力を加えて変形させないように、十分注意してください。

■ 楽器の組み立て手順

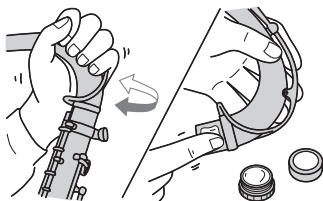
1. ネックにマウスピースを取り付けます。
マウスピースを握って、少し回しながら
ネックに差し込みます。ネックコルクの4
分の1程度が出る位置まで差し込みます。



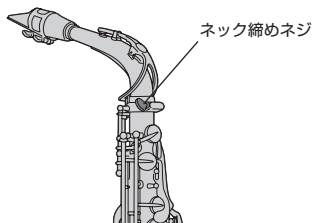
* 入りづらい場合は、ネックコルクの周りに
コルクグリスを少量塗ります。無理に力を
加えてネックを変形させないように注意
してください。



2. 本体にネックを取り付けます。
ネック締めネジをゆるめ、ネックを握り、
少し回しながらまっすぐに差し込みます。
* 入りづらい場合は、ネックのジョイント部
にコルクグリスを少量塗ります。

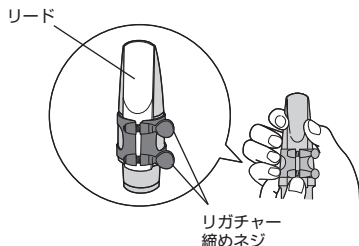


3. ネックの位置を合わせたら、ネック締めネジを締めてネックを固定します。



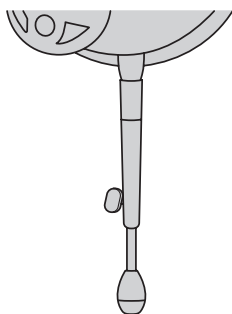
4. リードの先端を、口(または水)で十分に
湿らせます。

5. マウスピースにリードを取り付けます。
マウスピースの先端がほんの少し見える位の位置にリードをセットしたら、リガチャー締めネジ(2ヶ所)を締めてリードを固定します。



6. ストラップを首に掛け、楽器のストラップリングに、ストラップのフックを掛けます。

7. 楽器を持ち、マウスピースの向きやストラップの長さを調整します。
バリトンサクソフォンは、演奏姿勢に合わせてペグの長さを調整します。



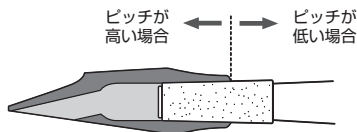
● チューニングのしかた

チューニングはマウスピースの取付位置で調整します。

チューニングは気温や管内の温度によって微妙に変わりますので、管内に十分に息を吹き込んで楽器を温めてからチューニングを行いましょう。

音を出してみて、

ピッチが高い場合はマウスピースを少し抜き、
ピッチが低い場合はマウスピースを少し押し込みます。



音のエチケット

美しい演奏は人にさわやかな感じを与えます。でも練習中の音は時には気になる人もいらっしゃるかもしれません。ご近所との日頃のお付き合いとともに、ご迷惑にならないように気を配りましょう。

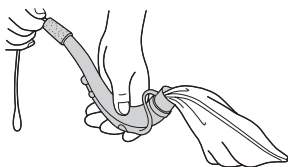
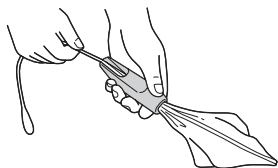
楽器のお手入れ

■ 演奏後のお手入れ

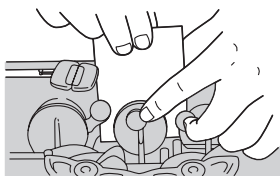
演奏後は、必ず以下の手順で楽器内部に付いた水分や汚れを取りましょう。

- リードを外し、クリーニングスワブ（別売）でマウスピースの内部を掃除します。ネック内部、ボディ内部もクリーニングスワブで掃除します。

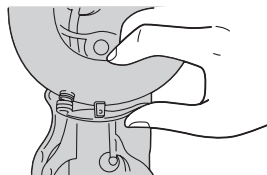
- * マウスピースの先端を傷つけないように注意してください。
- * クリーニングスワブは常に清潔に、乾燥させておきます。



- タンポが湿っている場合は、タンポとトーンホールのすき間にクリーニングペーパー（別売）をはさんで水分を完全に取ります。



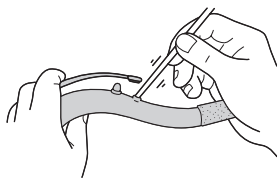
- バリトンサクソフォンは、ウォーターキーから水分を抜き取っておきます。



- 楽器表面はポリッシングクロスで拭きます。

- * キーに力がかからないように、またタンポを傷めないように注意して拭いてください。
- * ポリッシングクロスが針バネなどに引っ掛からないように注意してください。

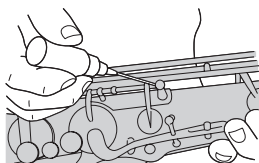
- オクターブキーのトーンホールは小さく詰まりやすいので、トーンホールクリーナー（別売）を使ってこまめに掃除してください。



■ 月に 1 ～ 2 回のお手入れ

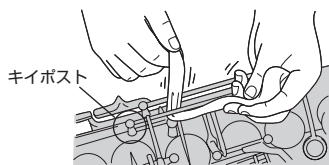
- キイのヒンジ部（動く部分）にキイオイル（別売）を少量さし、キイを動かしてオイルをなじませます。

- * キイオイルは付けすぎないでください。
- * キイの表面にオイルが付いた場合は、完全に拭き取っておきます。



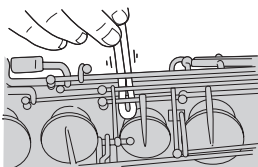
- キイの横やキイポストのまわりなど、細かい個所の汚れを取ります。キイに余分な力がかからないように注意しながら、細くしたガーゼなどで拭きます。

- * 針バネやキイコルクなどを取らないように注意してください。



- キイの間の細かい汚れやゴミは、トーンホールクリーナー（別売）を使って取ります。

- * タンボを傷めないように注意してください。



■ ネックの洗浄（半年に 1 回）

半年に一度は、ネックを洗浄しましょう。

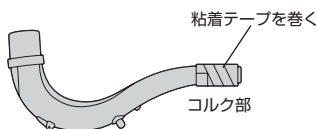
1. プラスソーブ（別売）1 に対して、30℃～40℃の温水 10～15 の割合で混ぜ、プラスソーブ水溶液をつくります。

- * ネックをプラスソーブ水溶液に入れないでください。

2. ドライバーを使って、ネックからキイを取り外します。

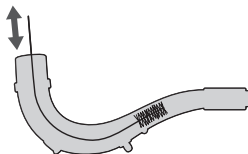
3. ネックのコルク部に粘着テープを巻いて、コルクに液が付かないようにします。

- * コルクは濡らすと変形してしまいますので、十分に注意してください。



4. サクソフフォンネックブラシ（別売）にプラスソーブ水溶液を含ませて、管内を洗います。

5. 汚れが落ちたら、ブラシにきれいな水を含ませて、管内の汚れとプラスソーブを取り除きます。



6. ネック内の水をよく切った後、クリーニングスワブを管内に通して水分を完全に拭き取ります。

- * ソプラノサクソフォンのネックは管が細くスワブが入りにくいので、入る所まで止めましょう。



故障かな？と思ったら

音抜け、音程が悪くなった。

▶ お店に修理を依頼してください。

タンポ部分に原因があると考えられます。

- ・ タンポがトーンホールに合っていない。
 - キイを強い力で圧迫しないこと。また、ケースにしようとき、楽器の上に物をのせないようにしましょう。
- ・ タンポの皮が破れている。
 - 屋外での演奏ではタンポに砂ぼこりがつきやすいので、演奏後は十分に掃除をしましょう。
- ・ タンポの開きの量が適当でない。
 - キイを強い力で圧迫しますと、キイの裏についているフェルトやコルクが傷んだり、外れて音程が悪くなる原因となります。注意して扱きましょう。

ハンダが外れた。

▶ お店に修理を依頼してください。

ケース内でキイガードの上に物をのせたままフタを閉めたり、または楽器を落とすなどして衝撃を与えると、ハンダが取れる場合があります。注意して扱きましょう。

マウスピースが入りにくい。

コルクグリスをネックコルクに軽く塗って、2～3回マウスピースをはめてみましょう。その際コルクグリスを塗らずにマウスピースをはめると、コルクがめくれてしまうことがあります。必ずコルクグリスを塗ってください。

キイが動かない。キイの動きが鈍い。

▶ カギ管が曲がってしまった場合は、お店に修理を依頼してください。

「楽器を落としたりぶつけたりした」、「ケースの中の楽器の上に物を置いたままフタを閉めた」、などによりカギ管が圧迫されて曲

がってしまうケースが多いようです。演奏が終わったらケースに収納しましょう。その際、ケースの中にはキイを圧迫するものを入れないこと。組み立てる際もキイを圧迫しないように注意しましょう。また、演奏の合間や練習の小休止の時には、楽器は自分で持っているようにしましょう。

▶ バネが外れている場合は、バネを掛ければ直ります。

楽器のお手入れの際、クロスがバネにかかり外れることがありますので、注意しましょう。

キイを動かすと雑音が出る。

▶ お店に修理を依頼してください。

以下のような原因が考えられます。

- ・ カギに付いているコルクやフェルトが取れたり、摩耗して薄くなっている。
 - コルクやフェルトが取れないように注意しましょう。
- ・ 楽器を落としたりぶつけたりしてキイを圧迫したために、キイと管体が接触したりキイ同士が接触している。
 - 演奏が終わったらケースに収納しましょう。また、演奏の合間や練習の小休止の時には、楽器は自分で持っているようにしましょう。
- ・ キイ部分の動くところが摩耗したり、ガタがきている。
 - 摩耗を防ぐには1カ月に1回程度(1～2滴/1カ所)、キイオイルをつけましょう。
- ・ ネジがゆるんでいる。
 - 木管楽器には小さなネジが多く紛失しやすいので、ネジのゆるみをいつも点検しておきましょう。

お手入れ用品とアクセサリー

素敵なミュージックライフのために、ヤマハでは、いろいろなアクセサリーを取り扱いいたしております。ここではサクソフォンに関するものをご紹介します。ぜひ、ご活用ください。

品 名	特 徴 ・ 使 用 方 法
シルバークロス	銀や銀メッキの楽器表面の変色や汚れを取り、きめ細やかな美しい光沢をもたらします。
ラッカークロス	楽器表面の汚れを取り、美しい光沢を蘇らせます。
ポリシングクロス	楽器表面の艶出しに適した、柔らかくきめ細かいクロス。
シルバーポリッシュ	銀あるいは銀メッキ仕上げの楽器表面の変色や汚れを取るときに使います。
メタルポリッシュ	研磨力の強い研磨材で素材の持つ特有の美しさを再現します。
ラッカーポリッシュ	ラッカー仕上げ専用の研磨剤で、表面の汚れを取り除き、艶のある光沢を生み出します。
マウスピースパッチ	アンブシュアを安定させ、歯による摩耗からマウスピースを守ります。
トーンホールクリーナー	トーンホールやキイの細部の汚れを取る際に最適です。
ポリシングガーゼ	楽器の表面や内部のクリーニングに最適です。
クリーニングスワブ	吸水性が良く、マウスピースやネックなど管体内面の水分や汚れをきれいに取ります。
モンスターズワブ	吸水性に優れた素材で、ベル部からネックジョイント部までの管体内面の水分をきれいに取ります。
コルクグリス	ジョイント部の動きをスムーズにし、管の気密を保ちます。
キイオイル	キイポストとカギ管の間やカギ管内面に使い、サビや摩耗を軽減します。
サクソフォンストラップ	演奏時の首や肩の負担が軽減する構造のストラップです。
パウダーペーパー	タンポのべたつきを取り、気になるノイズを軽減します。
クリーニングペーパー	タンポとトーンホールの間にはさみ、軽く押さえることにより水分、油分を吸収します。
ブラスソープ	ネックの内面のクリーニングに最適です。
サクソフォンネックブラシ	自在に曲がるため、ネックの内面のクリーニングに便利です。



フィンガリングチャート / Fingering Chart / Griffabelle / Tableau des doigts /

● 押さえる

Close

Geschlossen

Fermé

Cerrado

Fechado

关闭

Закрытый

닫힌

關閉

○ 放す

Open

Offen

Ouvert

Abierto

Aberto

开启

Открытый

열린

開啟

★ ロー A キーはバリトンのみ

★ The low "A" key is available on the baritone saxophone only.

★ Die Klappe für das tiefe "A" gibt es nur beim Baritonsaxophon.

★ La clef "A" n'existe que sur le saxophone baryton.

★ La llave "A" baja sólo está disponible en el saxofón baritono.

★ A chave de "A" grave está disponível somente no saxofone baritono.

★ 低音 "A" 键只在低音萨克斯出现。

★ Клапан нижнего "А" доступен только на баритон-саксофоне.

★ 낮은 "A" 키는 바리톤 색소폰에서만 연주가 가능합니다.

★ 只有上低音萨克斯风有低音「A」键。

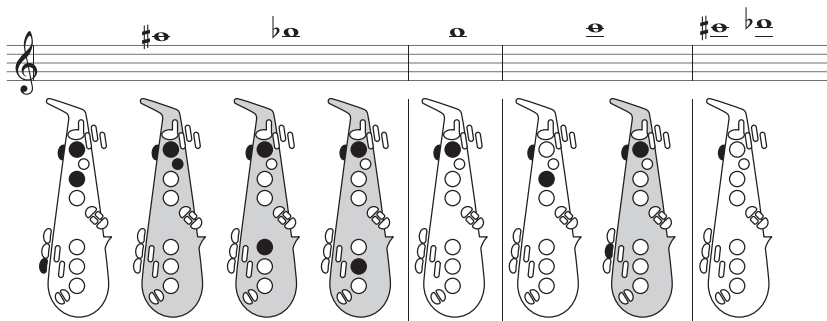
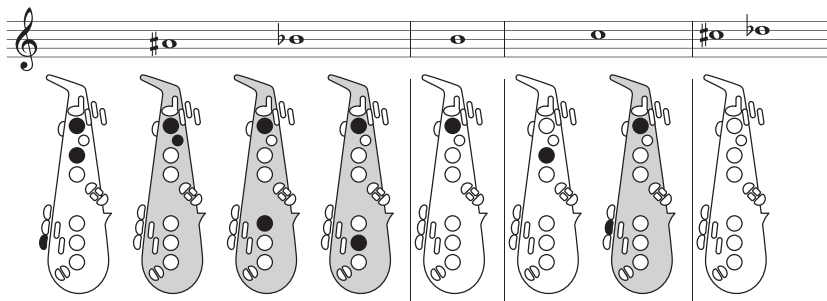
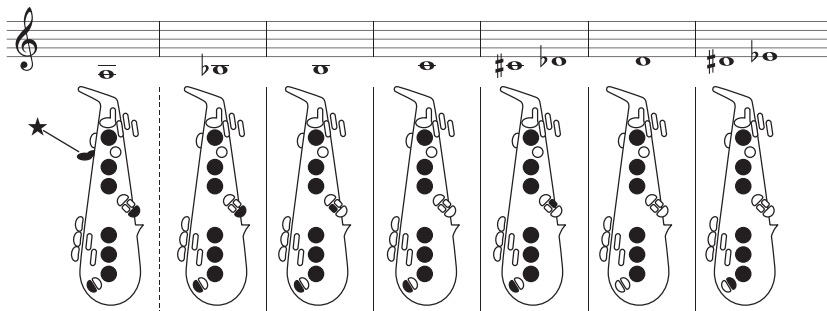


Gráfico de digitado / Grafico de digitação / 指法表 / Таблица аппликатуры / 운지법 / 指法表

- ◆ ハイ G キーはソプラノ (YSS-875EXHG) のみ
- ◆ The high "G" key is available on the soprano saxophone (YSS-875EXHG) only.
- ◆ Die Klappe für das hohe "G" gibt es nur beim Sopransaxophon (YSS-875EXHG).
- ◆ La clef "G" n'existe pas sur le saxophone soprano (YSS-875EXHG).
- ◆ La llave "G" alta sólo está disponible en el saxofón soprano (YSS-875EXHG).
- ◆ A chave de "G" agúdo está disponível somente no modelo de saxofone soprano (YSS-875EXHG).
- ◆ 只有高音萨克斯管 (YSS-875EXHG) 有高音 "G" 音键。
- ◆ Клапан верхнего "G" доступен только на сопрано-саксофоне (YSS-875EXHG).
- ◆ 높은 "G" 키는 소프라노 색소폰(YSS-875EXHG)으로만 연주가 가능합니다.
- ◆ 只有高音薩克斯風 (YSS-875EXHG) 有高音「G」鍵。

The image displays fingerings for the Soprano Saxophone (YSS-875EXHG) across three systems of notes. Each system consists of a musical staff with notes, a row of saxophone diagrams showing key fingerings, and a row of finger numbers (1-4).

System 1: Notes include G4, A4, B4, C5, D5, E5, F5, and G5. Fingerings are shown for each note, with G5 using the high G key.

System 2: Notes include A4, B4, C5, D5, E5, F5, G5, and A5. Fingerings are shown for each note, with A5 using the high G key.

System 3: Notes include B4, C5, D5, E5, F5, G5, and A5. Fingerings are shown for each note, with A5 using the high G key.



ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

Manual Development Group

© 2013 Yamaha Corporation

Published 03/2022

2022 年 3 月发行

POCP-C0

VDZ0080